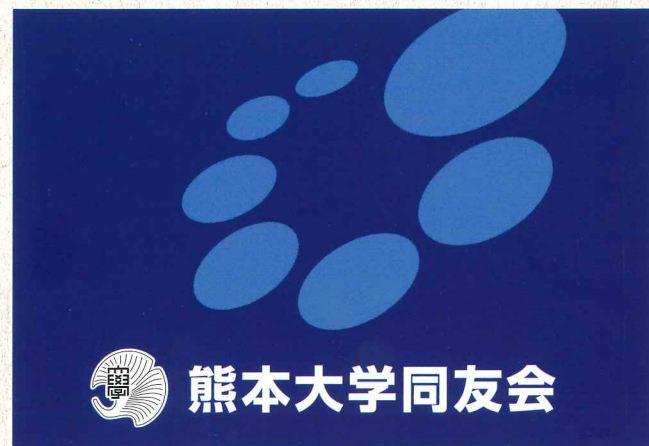


熊本大学同友会

創立30周年記念誌





五高記念館を見つめる夏目漱石像

武夫原頭に

草萌えて

作詞 恵利 武
作曲 伝一高生某氏

一、武夫原頭に草萌えて
花の香かく夢に入り
龍田の山に秋逝いて
雁が音遠き月影に
高く聳ゆる三寮の
歴史やうつる十四年

二、それ西海の一聖地
濁世の波をとほにせき
健児が胸に青春の
意気や溢るる五高魂
その剛健の質なりて
玲瓏てらす人の道



ラフカディオ・ハーン レリーフ像



INDEX

- 1 □ 挨拶
代表幹事 森 正臣
- 2 ■ 祝 辞
熊本県知事 蒲島郁夫
熊本大学長 原田信志
熊本学園大学経済同友会 代表幹事 内田安弘
- 5 ■ 熊本大学経済同友会設立趣意書
- 5 ■ 歴代代表幹事・事務局長 系図
- 6 ■ 創立から20年の主な歩み
- 9 ■ 創立20年～30年の歩み
- 15 ■ 思い出記
- 18 ■ 会員名簿
- 21 ■ 幹事等役員名簿
- 22 ■ 熊本大学同友会会則
- 23 ■ 熊本大学同友会入会のご案内



熊本大学同友会 30周年に寄せて

代表幹事

森 正 臣

熊本大学同友会は、30周年を迎えました。

熊大卒業生が学部、学科、年次の枠を超えて交流を盛んにし、親睦の輪を広げようという目的で設立され、既に120回にわたり開催されてきました。

会の運営に携わっていただいている世話役の皆さん方、特に事務局の田尻晋也さんには心からお礼申し上げたいと思います。

毎回行われる学長の挨拶を通して熊大の現状を知ることが出来、又各界の様々な分野からお招きした講師による時機を得た興味深い講話が年齢と共に埋没しがちな向学心や好奇心を刺激してくれます。

最近行われた講演の中で特に心に残るものとして、

工学部 河村能人先生による「世界に羽ばたくKUMADAIマグネシウム合金」

医学部 桑 昭苑先生による「IPS細胞と夢の再生医学」

薬学部 甲斐広文先生には、「熊本大学 世界初の医療機器開発」

工学部 秋山秀典先生による「熊本から未来を創るパルスパワー」

更に直近の講演では、

文学部 今村直樹先生による「江戸時代の『地方自治』と明治維新——熊本藩から——」

などがありました。

これらは、世界的に注目を集めるものや、これまでの定説を大きく塗り替えるほどの衝撃を与えた、熊本大学発の貴重な研究成果の発表でした。これ以外にも、日常的にさまざまな目を見張るような研究がおこなわれることを彷彿と感じさせてくれます。

これらの話を聞くたびに、我が熊本大学のイノベーション力の凄さを改めて強く認識することが出来、母校への誇りを感じ溜飲を下げることも度々です。加えて熊大には所謂地方創生の為に地（知）の拠点大学として熊本産学官のリード役としての期待も高まっております。これからも熊本大学が“創造する森 挑戦する炎”であり続け、日本に、世界に誇れる大学として燦然と輝きを増す事を願い、熊本大学同友会としても、会の一層の盛り上げを図りながら、熊本大学の振興を応援し続ける事を誓いたいと思います。



熊本大学同友会 30周年記念誌 寄稿

熊本県知事

蒲 島 郁 夫

熊本大学同友会が、創立30周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

熊本大学は、県内唯一の国立大学として、教育、研究、地域及び国際社会への貢献に努められ、熊本大学同友会の皆様をはじめ、卒業生の皆様が、熊本県はもとより国内外で活躍しておられることを大変喜ばしく思います。

このような中、熊本大学同友会におかれては、昭和62年の発足以来、会員相互の親睦・交流等に取り組み、地域と熊本大学の発展に寄与してこられました。同友会の活動の充実に御尽力された歴代の代表幹事や関係者の皆様に深く敬意を表します。

御承知のように、昨年4月、2度にわたり立て続けに震度7の地震が熊本を襲い、未曾有の被害をもたらしました。熊本大学も大きな被害を受けられた中、発災直後の6月には、「熊本復興支援プロジェクト」を始動し、8つのプロジェクトに取り組みされるなど、地域の地（知）の拠点である熊本大学が本県の創造的復興の推進力となっていることを大変心強く思います。

県では、昨年12月に県政の基本方針である「熊本復旧・復興4カ年戦略」を策定し、一日も早い生活再建と創造的復興に向けて、全力で取り組んでいるところです。この難局を乗り越えるためには、県民皆が力を合わせる必要があります。熊本大学並びに熊本大学同友会の皆様にも、引き続き、御協力賜りますようお願いいたします。

最後に、熊本大学同友会並びに熊本大学の益々のご発展と、皆様の更なる御活躍と御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



熊本大学同友会の 創立30周年を祝して

熊本大学長

原田 信志

熊本大学同友会の創立30周年、大変おめでとうございます。

30年といえば、人生では大学を卒業し会社などある程度の地位を得、まさにこれから活躍しようとする時期ではないでしょうか。昨年は夏目漱石の来熊120年で、地震という不運な出来事があったにもかかわらず、幾つかの記念行事が催されました。この夏目金之助が第五高等学校の英語科教授として赴任してきた120年前、実は彼が30歳の時でした。その後の作家としての活躍を仕込み始めたのがこの時期であると思います。

熊本大学同友会は、昭和62年熊本大学経済同友会という名称で発足いたしました。その後、熊本大学同友会と名称変更し、熊本在住の熊本大学卒業生有志が学部、卒業年次の壁を越えて集まり、親睦と交流を通じて地域と熊本大学の発展に寄与することを目的としています。

年4回の例会があり、各界から講師を招き講演会を開催しています。私も学長に就任した年の平成27年8月の総会で、「熊本大学の成長戦略」ということで話させていただきました。その時、本同友会の会員としてメンバーに加えていただきました。それ以来、食事をしながらの会員交流を楽しんでいます。

30年、熊本同友会の基礎は出来ました。漱石同様これからさらに活躍され、熊本の発展とともに、熊本大学の強固な応援団となられることを期待します。



熊本大学同友会 30周年記念誌への寄稿

熊本学園大学経済同友会 代表幹事

内田 安弘

熊本大学同友会創立30周年、誠におめでとうございます。

旧制第五高等学校の流れを汲む熊本大学は、本県における大学の雄として多くの人材を輩出し、それらの方々のご努力ご活躍が、本県の発展の礎になっていると思っています。

我が熊本学園大学も昭和17年の東洋語学専門学校の創設、昭和29年の熊本商科大学の設立、平成6年の熊本学園大学への改称を経ながら多くの卒業生を輩出し、熊本大学と同様に本県の発展に寄与してきたのではないかと感じております。

熊本大学は、総合大学ですが経済学部、農学部がありません。それ故、この熊本の地においては、これまで、それぞれの大学がその特色を生かし、地域社会全般に対する最高学府としての様々な役割を果たしてきました。

経済学部、商学部の卒業生が主体となる「熊本学園大学経済同友会」は、企業の経営者や役職員等で構成する会員86名の団体です。会員が所属する各事業体の業務への更なる精励と相互の経済活動の助長、情報の交流等により地域経済の発展に寄与することを目指した団体として昭和55年に創立され、今年で37年目になります。貴団体と同様、年4回の例会等を開催しながら会員相互の親睦と交流を行っておりますが、貴団体と合同で開催する新年会は、また新たな交流が生まれる貴重な機会であり、毎回楽しみにしているところです。

学生生活をこの熊本の地で過ごした事実は、大きな意味を持つと思います。郷土愛に溢れ、地域と母校の発展を目指す団体として、両団体が切磋琢磨しながらこれからも親しい交流が続くことを願います。

熊本のリーダーである熊本大学同友会及び会員の方々の、これからの益々のご発展を祈念いたします。



熊本大学経済同友会設立趣意書

我々が学んだ熊本大学は、発足以来、三十有余年を迎えようとしております。この間、多数の同窓生が実社会に巣立って行きました。

しかしながら、従来、熊大卒業生は大人しく目立たなさすぎると言われがちでありました。確かに、一人一人の能力は優れていると思われませんが、その力を結集し、団体的な活動を行う面に於いて遅れていたと言わざるを得ません。情報化時代の今日、これではあまりにも残念であります。

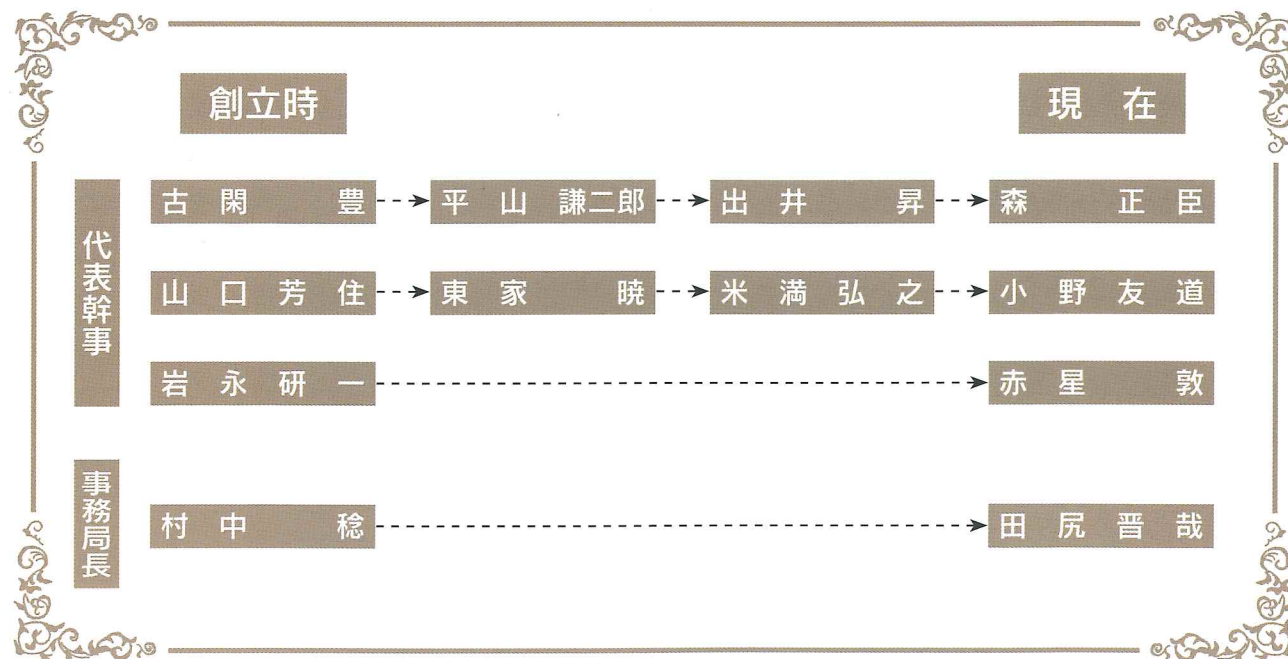
我々は、熊本大学という共通の土俵を持っております。その我々が、定期的に会合を持ち協力し合う事により、相互の親睦を深め、経済上・生活上の情報交換を行うならば、我々自身の為のみならず、広く熊本の地域社会に貢献できる事と確信します。

同窓会諸兄におかれましては、上趣旨をご理解のうえ、熊本大学経済同友会設立に向けて多数のご参加をお願い致します。

昭和62年1月
熊本大学経済同友会

第18回総会（平成16年8月24日）において、熊本大学経済同友会の名称を熊本大学同友会に変更して、新たな出発としました。

歴代代表幹事・事務局長 系図



創立から20年の主な歩み

会名称	年月日	場 所	講 師	演 題
発会式	S62. 3.20	熊本ホテルキャッスル		
第1回総会	S62. 8.28	熊本交通センターホテル		
第2回総会	S63. 8.30	熊本交通センターホテル	熊本工業大学学長 中山義崇様	熊本の発展策について
第3回総会	H 1. 8.30	熊本交通センターホテル	九州東海大学学長 松山公一様	人口知能によせて
他大学との 合同賀詞交換会	H 2. 1.	熊本ホテルキャッスル		
第4回総会	H 2. 8.29	熊本交通センターホテル	化学及び血清療法研究所 所長 野中實男様	
第5回総会	H 3. 8.30	熊本交通センターホテル		
合同賀詞交換会	H 4. 1.27	熊本ホテルキャッスル		
第6回総会	H 4. 8.26	熊本交通センターホテル	熊本県知事 福島讓二様	県政を担当して
合同賀詞交換会	H 5. 1.25	熊本交通センターホテル		
第7回総会	H 5. 8.25	熊本交通センターホテル	日銀熊本支店長 谷本茂様	今後の景気動向について
合同賀詞交換会	H 6. 1.20	ニュースカイホテル	ニコニコドー社長 林端栄様	最近の中国経済の状況
第8回総会	H 6. 8.30	熊本交通センターホテル	九州電気通信監理局長 田中征治様	情報基盤の整備について
公開講演会	H6.10.23	熊本ホテルキャッスル	細川佳代子様	首相官邸の262日
合同賀詞交換会	H 7. 1.25	熊本交通センターホテル	財団法人 地域流通経済研究所 専務理事 筑紫修次様	
第9回総会	H 7. 8.23	熊本交通センターホテル	郷土史家 徳永紀良様	八代将軍吉宗と熊本のからみ

会名称	年月日	場 所	講 師	演 題
合同賀詞交換会	H 8. 1.23	熊本交通センター ホテル		
第10回総会	H 8. 8.27	熊本交通センター ホテル	熊本日日新聞編集局文化部長 井上智重様	五高教師 夏目漱石
10周年記念 講演会	H 9. 2. 4	熊本交通センター ホテル	肥後銀行会長 長野吉彰様	
第11回総会	H 9. 8.	熊本交通センター ホテル		
第12回総会	H10.8.27	熊本交通センター ホテル	地球緑化の会副会長 寺尾勇様	
合同賀詞交換会	H11. 1.26	熊本交通センター ホテル	元通産省中小企業庁長官 岩崎八男様	日本経済の動向 について
第13回総会	H11. 8.	熊本交通センター ホテル		
第14回総会	H12. 8.	熊本交通センター ホテル		
第15回総会	H13. 8.	熊本交通センター ホテル		
第16回総会	H14. 8.27	熊本交通センター ホテル	熊本大学学長 江口吾郎様	
第17回総会	H15. 8.26	熊本交通センター ホテル		
第18回総会	H16. 8.24	熊本ホテルキャッスル	熊本大学学長 崎元達郎様	熊本大学の法人化に ついて
第19回総会	H17. 9.28	熊本交通センター ホテル		
第20回総会	H18. 8.30	熊本交通センター ホテル		
合同新年会	H19. 1.22	熊本ホテルキャッスル	両会の代表幹事が 活動報告等	
第21回総会	H19. 8.28	熊本交通センター ホテル		
合同新年会	H20. 1.29	熊本全日空ホテル ニュースカイ	両会の代表幹事が 活動報告等	
第22回総会	H20. 8.26	熊本交通センター ホテル		

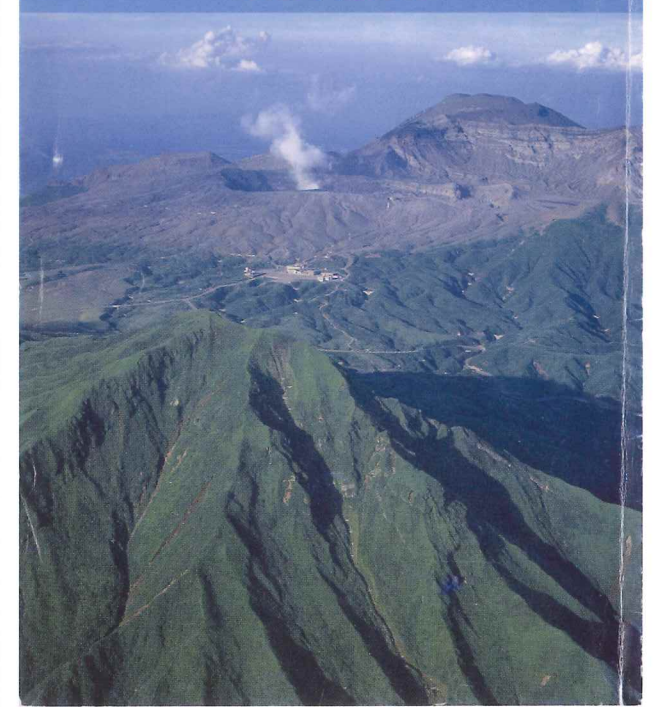
熊本大学経済同友会第8回総会



平成8年
熊本大学経済同友会賀詞交歓会



熊本大学 経済同友会 10周年記念号



熊本大学同友会創立20周年記念式典

蒲島県知事講演会

”演題 これからの熊本の夢”

ご 案 内

主 催 熊本大学同友会

期 日 平成20年11月30日(日)
場 所 熊本全日空ホテルニュースカイ
2F(玉樹の間)
住 所 熊本市東阿蘇陀寺町2

感謝状

熊本大学同友会殿

貴会は昭和六十二年に熊本大学経済同友会として創立以来永年に亘り熊本大学の活動に深い理解を示され本学の発展に多大な貢献を戴きその功績は誠に顕著でありますよこの度創立二十周年記念行事を開催されるに当り本状を贈り深甚なる感謝の意を表します

平成二十年十一月三十日

理事長 熊本大学
学長 崎元達郎

創立20年～30年の歩み

その1

会名称	年月日	場 所	講 師	演 題
20周年	H20.11.30	熊本全日空ホテル ニュースカイ	熊本県知事 蒲島郁夫様	これからの熊本の夢
例 会	H21. 1.23	KKRホテル熊本	九州旅客鉄道(株) 取締役熊本支社長 細川勝則様	全線開通予定の九州新幹線 鹿児島ルートについて
第23回総会	H21. 8.26	ホテル日航熊本	熊本大学学長 谷口 功様	熊本大学の近況
例 会	H21.10.29	熊本ホテルキャッスル	人吉旅館女将 堀尾里美様	外国人女将の奮闘記
合同新年会 ※	H22. 1.21	熊本全日空ホテル ニュースカイ	大学院自然科学研究科 マテリアル工学専攻教授 河村能人様	世界に羽ばたく KUMADAIマグネシウム合金
例 会	H22. 4. 8	熊本大学生協同組合、 黒髪南地区新レストラン 「FORICO」	熊本大学特任教授 川口恭子様	熊本大学における永清 文庫研究について
第24回総会	H22. 8.24	ホテル日航熊本	工学部副学部長 村山伸樹様	医と工のはざままで
例 会	H22.11.16	熊本交通センター ホテル	医療法人寿量会 地域医療連携 画像診断センター長 中山善晴様	画像診断の 夢のような話
合同新年会	H23. 1.17	熊本全日空ホテル ニュースカイ	熊本市長 幸山政史様	政令市元年へ向けての 取り組み
例 会	H23. 3.24	熊本大学 くすのき会館	熊本洋学校ジェーンズ邸館長 黒田孔太郎様	ジェーンズと熊本
第25回総会	H23. 8.30	ホテル日航熊本	化血研理事長 船津昭信様	ワクチンの将来
例 会	H23.11.22	メルパルク熊本	薬学部副学部長 入江徹美様	薬学部6年制導入と その影響
合同新年会 ※	H24. 1.20	熊本全日空ホテル ニュースカイ	日立金属(株) 代表執行役 執行役社長 藤井博行様	日立金属の紹介と、 日本ものづくりの課題
例 会	H24. 4.23	熊本大学法学部 講義室	さいか総合法律事務所 所長 弁護士 雑賀庸泰様	市民と裁判員制度

合同新年会は、熊本学園大学経済同友会と熊本大学同友会との合同開催
※は熊本大学同友会主催

H20.11.30



H22.4.8



H23.3.24



H24.1.20

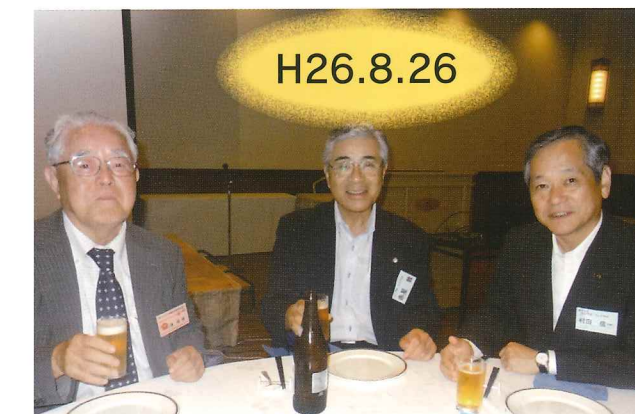
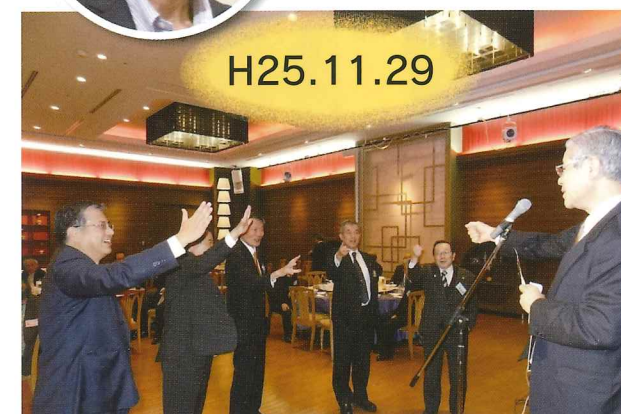


創立20年～30年の歩み

その2

会名称	年月日	場 所	講 師	演 題
第24回総会	H24. 8.31	ホテル日航熊本	熊本市市民病院診療部長 橋本洋一郎様	脳卒中の予防と治療 －突然襲いかかる脳卒 中の恐怖
例 会	H24.11.27	メルパルク熊本	阿蘇火山博物館学術顧問・ 熊本大学名誉教授・理学博士 渡邊一徳様	阿蘇火山から学ぶ 破局噴火
合同新年会	H25. 1.29	ホテル日航熊本	熊本商工会議所会頭 田川憲生様	熊本商工会議所会頭 として
例 会	H25. 4.19	熊本大学 工学部2号館1階-212 教室	文学部文学部長 大熊 薫様	フランス事情 あれこれ
第27回総会	H25. 8.29	熊本ホテルキャッスル	大学院自然科学研究科付属減災型社会 システム実践研究教育センター 教授 山田文彦様	九州北部豪雨から 1年を振り返って
例 会	H25.11.29	メルパルク熊本	大学院自然科学研究科 理学専攻准教授 横瀬久芳様	うなぎ資源の真実
合同新年会 ※	H26. 1.21	ホテル日航熊本	医学部発生医学研究所教授 糸 昭苑様	iPS細胞と 夢の再生医学
例 会	H26. 4.19	ホテル日航熊本	熊本大学学長 谷口 功学長	熊本大学の現状
第28回総会	H26. 8.26	ホテル日航熊本	熊本県副知事 村田信一様	熊本県を取り巻く 諸問題について
例 会	H26.11.25	メルパルク熊本	熊本大学大学教育学部教授・ 同学部附属小学校校長 河野順子様	熊本大学教育学部にお ける国語教育研究者と しての取り組み
合同新年会	H27. 1.20	ホテルニューオータニ 熊本	福岡アメリカ領事館 首席領事 ユーリー・フェッジキフ様	グローバル・パート ナーシップ：日米協力 の概観

合同新年会は、熊本学園大学経済同友会と熊本大学同友会との合同開催
※は熊本大学同友会主催



創立20年～30年の歩み

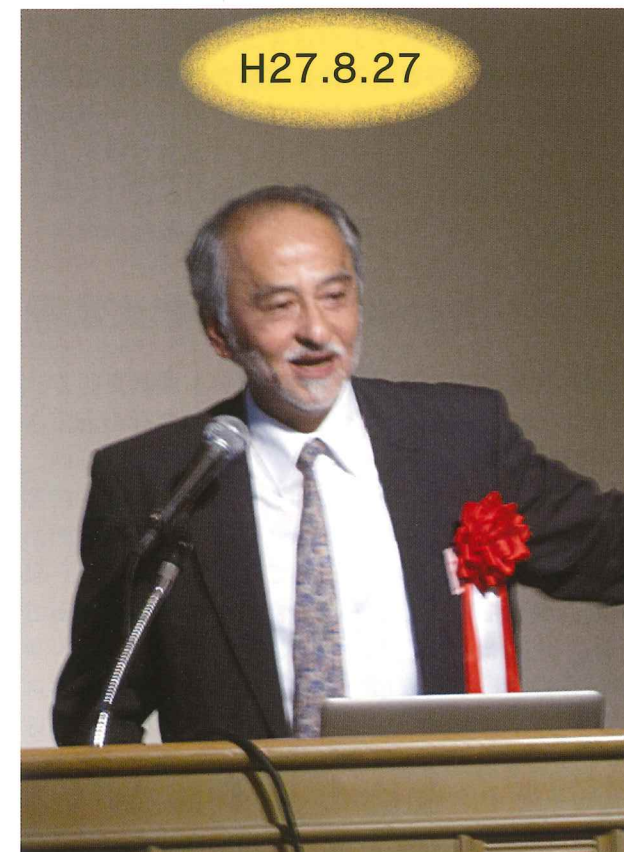
その3

会名称	年月日	場 所	講 師	演 題
例 会	H27. 4.23	熊本大学薬学部 宮本記念館	大学院生命科学研究部 先端生命医療科学部門教授 甲斐広文様	熊本大学から、世界初 の医療機器開発
第29回総会	H27. 8.27	ホテル日航熊本	熊本大学学長 原田信志様	熊本大学の成長戦略
例 会	H27.11.13	熊本大学 工学部2号館1階-212 教室	熊本大学パルスパワー科学 研究所所長 秋山秀典様	熊本から未来を創る パルスパワー
合同新年会 ※	H28. 1.20	メルパルク熊本	熊本機能病院 顧問 小野友道様	夏目漱石来熊120年、 生誕150年、没後100年 を迎えて
例 会	H28. 4.19	ホテルニューオータニ 熊本	太陽誘電(株) 常任顧問 神崎芳郎様	日立製作所に入社して
第30回総会	H28. 9.12	ホテル日航熊本	熊本大学名誉教授 北園芳人様	熊本地震の土砂災害に ついて
例 会	H28.11.15	ホテルニューオータニ 熊本	熊本大学東京武夫原会会長 神崎芳郎様	実業界に生きてきて
合同新年会	H29. 1.24	ANAクラウンプラザホ テル熊本ニュースカイ	九州産業交通ホールディングス(株) 代表取締役社長 矢田素史様	熊本桜町再開発の最新 の動向について
例 会	H29. 4.20	メルパルク熊本	熊本大学文学部准教授 今村直樹様	江戸時代の『地方自 治』と明治維新ー熊 本藩からー
第31回総会 30周年	H29. 8.26	ホテル日航熊本	熊本大学医学部長・大学院 生命科学研究部長 安東由喜雄様	家族性アミロイドポリ ニューロパチー (FAP) の 根治療法を目指して

合同新年会は、熊本学園大学経済同友会と熊本大学同友会との合同開催
※は熊本大学同友会主催



H27.4.23



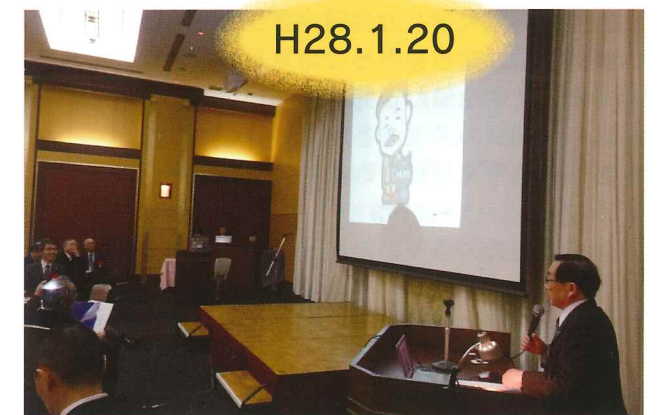
H27.8.27



H27.8.27



H28.9.12



H28.1.20



H29.4.20

思い出記

熊本大学同友会発足30年の回顧

村上 健太郎 (昭和28年法文学部卒)

母校の同友会が発足してから30周年を迎えたが、時代の移り変わりに感慨無量な思いが去来する。

まずは、当時発足に当たって日夜御苦労された方々へのご心労を想い、感謝の気持ちで一杯である。思えば、昭和61年の秋頃、熊本市役所を退職した後、社団法人熊本県国際交流協会に勤めていた同窓生の古閑豊兄から「熊本経済同友会」の設立の電話があった。当時、私は勤めていた会社での任期満了も近く、次期の職場への準備の最中であった。そこで、協力しなければいけないという気持ちはあったが、止むなく遠慮させて貰った。

経済同友会は、地域の経済の活性化に努めるとともに、会員相互の交流や親睦も推進することに重点が置かれているような雰囲気を感じた。

古閑兄等の準備委員の努力により、昭和62年3月に発会式の開催の運びとなった。当時のお世話役のご心労を思えば、ただただ感謝の気持ちで一杯である。そして、同年の8月に第1回の総会が行われた。古閑兄は運営の責任者として、また講師として敏腕を振るった。

その後の総会には、経験豊かな諸先輩の方々が会員の講師として貴重な体験や講話を頂いた。例会では、当時会員の中山義崇氏（熊本工業大学長）、松山公一氏（東海大学長）、長野吉彰氏（肥後銀行頭取）、福島譲二氏（熊本県知事）などの講話を聞くことができ、極めて有意義であった。

また、同窓生のなかでは、当時熊本近代文学館の館長であった永畑道子会員の講話も印象深いものがあった。

現在、熊本経済同友会は「熊本同友会」として、幅広い活動を続けている。学部間の連携も素晴らしく、会員間の結束も固い。毎年の賀詞交換会・忘年会そして年間の総会・例会・花見の会も盛大に行われてきた。熊本学園大学との合同の会合も毎年行われており、親睦の度合も高まっている。

経済活動に重点をもって発足した経済同友会は、今や活動の幅も拡がり、社会の発展の為に「同友会」としてその使命を果たしていくことだろう。益々の発展と繁栄を祈念してやまない。

昨年は地震の発生で各地に被害を生じたが、これも自然からの試練として受け止めていきたい。

前記の古閑豊兄は、その後公用で外国出張中に不慮の病気で、今も療養中である。ご自重、ご自愛を祈って止まない。

熊本同友会の益々の発展と、役員・会員の皆様方のご多幸を祈念して擱筆します。

30周年に寄せて

平山 謙二郎 (昭和29年法文学部卒)

熊本大学同友会30周年、おめでとうございます。これまで会を支えて来られた歴代の役員、事務局の方々に心より感謝し、敬意を表します。

30年の歩みといっても小生のような半ボケ老人にはまさに往時茫茫、加えて身辺整理の段階に入っているほどの書籍や資料類を処分し終えているため、おぼろげな記憶をまさぐるしかありません。幸い古い手帳の束が残っていて、昭和62年（1987）の手帳から「3月20日、熊本経済同友会発会式」のメモが見つかりました。「18時30分 ホテルキャッスル 会費6,000円」とあります。会関係のメモはそれだけ。困りました。

そこで、古巣の熊日データベース部へSOS。翌3月21日付け朝刊経済面から熊本経済同友会の発足記事を見つけてもらいました。極々簡単なベタ記事（一段見出しの記事の事）ですから、全文を紹介します。

▷熊本経済同友会が発足—20日熊本市内のホテルで発会式をした。100人が出席、今後の事業計画を決め、代表幹事に古閑豊・熊本産貿協専務理事（法文・28年卒）岩永研一・岩永組社長（工・30年卒）東家暁・東家病院長（医・同）を選んだ。今後講演会や懇親会を定期的に関開くほか会報も発行する。熊大同窓生の交流を深めるため古閑氏らが呼びかけた。

熊本卒業生の全学部を横断的にまとめた初の同窓生グループの誕生です。呼びかけ人の古閑先輩は熊本時代、熊延鉄道と一緒に通学した仲。岩永、東家両氏は壺川小学校の同窓生という奇縁でした。その後、古閑氏の病気で小生がその後任を引き受け、さらに今日まで何人もの方々が会の運営を支えて来られた事は皆さんご承知の通りです。

経済同友会はこのあと熊本商大経済同友会との合同賀詞交歓会（平成4年1月27日）を初めて開き、これは今日まで恒例行事として続いていますし、総会や定例会での講演会もユニークな講師発掘で盛会でした。特に創立20周年（平成20年11月30日）の記念講演では蒲島知事を招き、当時の熊日記事では参会者360人とあり、出席者数記録を作っています。また平成7年2月4日付けの熊日は「阪神大震災の救援活動」のなかに、「4万6千6百円・熊本経済同友会有志一同」の名前を見つけました。うれしい思い出です。この30年の歩みはまさに母校愛という会員みんなの「継続する志」に支えられて来たことを改めて実感します。

さて、わが熊本大学もいまや大学生の生き残りの戦いの真っ只中にあります。文教の府・熊本の中核的な頭脳集団高等教育機関として一層の進化・発展が求められています。幸い「熊本HIGOプログラム」の推進や留学生対応など新しい試みも始まっています。開かれた大学として世界へ羽ばたく日を夢みながら、私共もしっかり支えていきましょう。

熊本大学同友会の思い出

岩永 研一 (昭和30年工学部卒)

この度、熊本大学同友会が創立30周年を迎えましたことを御祝い申し上げます。

創立より今日まで会員としてこられたことに先ず感謝しております。

同友会の思い出というと、昭和61年の夏の或る日、村中稔さんが会社に来社されて、私が熊本工学部の卒業生であることを確認されました。そして話し出されたのが、この会を作りたいとのことでした。熊本には熊大の卒業生が多く居るが、その人達を一つの会にまとめるなら熊本の経済の発展につながる力になると思うが、どうかと言うことでした。村中さんの思いを詳しく聞きました。私が賛同するなら一緒にやりましょうとの申し出を受けました。村中さんの仲間と集まり趣意書をつくり卒業生に呼び掛けました。その結果可成りの人が賛同してくれる見通しが立ったので、創立に向けて動き出して、昭和62年3月20日にホテルキャッスルで創立式典を挙げてスタートすることになりました。その時に来賓として熊本経済同友会の代表幹事の河端修様が御祝儀の中で我々の熊本経済同友会と間違われやすい名称の会です。皆さんがどんどん活躍されたら我々の影が薄くなるのが心配ですと励ましの言葉を頂きましたのを思い出します。

その年の8月の第1回総会には熊日に広告を出したこともあって、会員以外の卒業生が30名程参加してくれました。どんな会かと知りたいたところもあったのでしょうか。

年1回の総会以外に2ヶ月毎に例会を開き卒業生や学校関係の方々に来て頂き講演をして頂きました。その例会に福島知事にも来て頂いたところ五高の卒業生でも会員になれるかとの事で、会員になられました。会にはよく出席して下さいました。公務上の秘書は早く帰して最後まで残っておられました。

たまには遊びの方もと言うことで春には法文学部の桜の下で有志集まって花見もしました。例会以外でもキャッスルの1階にある会員制のエルドロードの会員になって遠くに居る人が熊本に帰った時に仲間を集めて懇親の場を持つこともありました。

熊本経済同友会の経済がついているので役所にいる卒業生は入会しづらいとの声があるので経済をはずして熊本大学同友会にしたのです。しかし今になってみると役所の人の入会は余りありません。

その後熊本大学同窓会連合会が発足して、我々の熊本大学同友会がその先駆けとなっているのではと思っています。

ここまでこの会を続けてこられたのは、最初の発起人として会の御世話をして長い間事務局長として会の運営に携ってこられた村中稔さんのお力添えあってのことですが昨年5月に亡くなられています。このことを忘れてはならないと思います。

これからの熊本大学同友会の発展を心より御祈り申し上げます。

思い出すまに

出井 昇 (昭和30年法文学部卒)

昨年の熊本地震により、多くの資料が散逸してしまいましたので、すっかり老化した脳ミソの底を探りながら発足当時の状況を振り返ってみたいと思います。

地方公務員生活もいよいよ最後に差し掛かった頃、当時気鋭の岩永研一さん、古閑豊さんから、熊大卒業生が学部の垣根を越えてお互いの親睦をはかり、熊本の活性化に何らかの寄与をしたいという趣旨の会を作りたいという話があり賛同した次第です。昭和62年に第1回総会が交通センターホテルで開催され、爾来、30周年を迎えたことはいささか感慨深いものがあります。当時、まだ旧制高校・高専等の先輩も多く、本会会則にある特別会員として肥後銀行の長野会長、福島熊本県知事、守任参議院議員、中山工科大学長（現崇城大学）も参加して頂きお話をうかがったことが思い出されます。当時の会員数は大体100名から120名位だったと記憶しております。不肖私も幹事の一人として主に会員の獲得の手伝いをさせていただきました。その後、平山代表幹事の後を受けて代表幹事の末席を汚すことになりましたが、第1の仕事は会員の獲得でした。会員の殆どが有職であり、転勤・転居と移動が激しく会員数の増加が伸び悩んでおり、たまたま私は学生時代を最後まで旧五高の習学寮で生活していた関係から、在熊の理学部・薬学部・教育学部卒の諸氏に誘いをかけましたが、趣旨には賛成だけど「われわれは経済の知識も乏しく関心もない」というのが大半でした。その時、設立総会の折、当時の熊本経済同友会の河端代表幹事が「私達の経済同友会と間違えられはせんでしょうか」という岩永代表幹事の言葉を思い出し「経済」という言葉ははずしたらと提言し、役員会の了承を得て「熊本大学同友会」と改称したのであります。ちなみに当時の会員は工学部・法文学部・医学部出身者がその殆どを占めていました。今考えてみると「経済」という文字をはずしたのが良かったのかどうか判断に苦しんでいます。また、平成4年から熊本商科大学（現学園大学）経済同友会との合同賀詞交歓会は現在も続いていますがいい勉強になります。熊大同友会がこれまで続けてきた蔭には、岩永代表幹事、村中事務局長のご苦勞を忘れることはできません。

古い旧制高校の寮歌ではありませんが、「星霜移り人は去り」という詞章がありますが、発足当時の会員は5分の1位に減っています。若い会員の諸氏が肉体的にも知的にも老化していく私どもに新しい刺激を与えていただくことを念じて止みません。

30年の思い出を語る

常任幹事 本田 清躬 (昭和43年法文学部卒)

あれは昭和61年の半ばだった。村中司法事務所の村中君、市役所勤務の中井君、それに私の盟友の交通センター勤務の森君たちから、学部横断の同窓会を作りたいとの話があった。私ももちろん異論はない。

岩永組の岩永社長（工学部卒）を中心に数回会合を重ね、翌62年3月に創立総会を実施した。創立当時は10名はいなかったように思う。

それから会員獲得の方法や、規約作成作りなどいろんな問題を解決しながら、8月の第1回総会を迎えた。文系、理系、医系の三代表幹事にそれぞれ古閑豊さん、岩永研一さん、山口芳住さん、私も常任幹事を仰せつかり今に至っている。

当時の総会、例会の講演の後の懇親会は今以上に派手だった。学部の卒業生との付き合いはあったが他学部のそれも熊本で活躍の諸先輩方や後輩との出会いは、感動的なものだった。皆さんと大いに盃を酌み交わし盛り上がっていた。

いつの頃か定かではないが、五高卒の中山崇城大学学長、長野肥後銀行頭取も会員になられた。当時の県知事の福島さんも自ら来られ会員になって頂いた。

会員の講演も素晴らしくいろいろな知識をいただき、私の財産になっている。

春の五高記念館前での花見会も非常に楽しいものだった。酒や食べ物を持ち寄り痛飲して話も盛り上がり親睦を深めた。今でも楽しい思い出として心に残っている。

他大学同窓会との交流会も記憶に残っている。現在も続く学園大はもちろん、慶応大学同窓会との交流会も行った。他大学の皆さんとも仲良くなり20年以上の付き合いの人も何人もいる。

今30年を過ぎ、当時の仲間の森君、村中君は故人になったが、今もその思いは脈々と引継がれている。年ごとに古い会員が減少するのは寂しいが仕方ない。

熊本には多くの卒業生がいる。その人たちを取り込み魅力ある同窓会にしなければいけない。総会、例会の在り方の再構築、あるいはホームページを開設して、活動の報告、宣伝を考えたらどうかと思っている。

会員名簿

※卒年時については、学部卒業時です

卒年	学部	氏名	所属
S28	法	村上 健太郎	ボランティアグループ「きずなの会」 会長
S29	法	平山 謙二郎	自遊人
S29	薬	荒木 功	元 社会福祉法人明芳会ヴィラ・ながみね 理事長
S30	法	出井 昇	熊本大学武夫原会 顧問
S30	工	岩永 研一	岩永組(株) 代表取締役会長
S30	医	東家 暁	(医)明和会 くまもと悠心病院 理事長・精神保険指定医
S31	教	中村 青史	熊本大学教育学部同窓会 顧問
S36	法	柿山 武志	熊本日日新聞社 相談役
S36	法	森 正 臣	学法)熊本城北学園 理事長・九州看護福祉大学 理事長
S36	工	佐藤 泰生	熊本大学工業会 会長 熊本大学・八代高専名誉 教授
S37	薬	高田 敬之	(株)エヌ・ティ・メディカル 代表取締役
S38	医	米満 弘之	熊本機能病院 会長・総院長
S38	医	上村 順一	(医)順幸会理事長 上村医院
S39	医	二塚 信	熊本大学同窓会連合会 会長
S40	法	中山 英二	元 (株)肥後銀行 取締役
S40	教	田島 興治	タシマISOコンサルティング事務所 代表
S41	医	小野 友道	熊本機能病院 顧問
S41	教	渡邊 一徳	熊本大学教育学部同窓会 会長
S42	工	田中 征夫	元 (株)SYSKEN 役員
S42	法	松下 謙一郎	(株)データサービス 代表取締役
S42	法	安田 宏正	熊本大学九州連合同窓会 会長
S43	工	諫山 徹也	元 西部電気工業(株) 執行役員
S43	法	本田 清躬	元 (有)熊日黒髪販売 社長
S43	工	中山 弘道	元 日本工機(株) 代表取締役社長
S44	工	山内 稔	NPO熊本技術士の会 理事
S44	理	船津 昭信	元 熊本保健科学大学 理事長
S44	工	赤星 敦	(株)SYSKEN 顧問・熊本のいのちの電話 事務局長
S45	理	田中 伸廣	熊本県環境立県推進課
S45	法	吉本 英俊	吉本英俊司法書士事務所
S45	工	溝上 寛	(一財)化血研 常務理事
S45	工	滝口 靖憲	日中ゆかりの会研究所 代表
S46	法	坂本 康尚	熊本県バドミントン協会 会長
S46	法	田川 憲生	ホテル日航熊本 代表取締役会長
S46	工	鮎川 久雄	(株)フォーカス 代表取締役

卒年	学部	氏名	所属
S46	薬	高濱和夫	熊本保健科学大学 学部長
S47	工	涌田博実	(株)環境デザインコンサルタンツ 代表取締役
S47	法	宮家誠二	(名)宮家印刷所 代表社員
S47	法	緒方博	緒方労務管理事務所 代表
S47	工	山内康二	(公財)阿蘇グリーンストック 副理事長
S47	工	今村修	元 熊本県保健環境科学研究所 大気科学部長
S47	工	里中忍	熊本県立技術短期大学校 校長
S47	工	山浦純治	元 エスジーケミカル(株) 顧問
S48	工	成松真	九州通信産業(株) 相談役
S48	法	村田信一	熊本空港ビルディング(株) 社長
S48	工	河崎有博	(株)愛歯 顧問
S48	工	柏尾敬秀	(株)SYSKEN 相談役
S48	工	村上俊明	エスイーリペア(株) 顧問
S49	薬	田中正比古	熊本大学薬学部同窓会 会長
S49	法	河村久幸	(株)ヒライホールディングス 取締役
S49	法	内山悟	熊本日日新聞社 監査役
S49	工	村山伸樹	熊本大学 名誉教授
S49	法	坂本修一	元 大塚製薬(株)
S50	法	徳永隆裕	学法)出田文化学園 理事長
S50	法	西島喜義	熊本市シルバー人材センター 理事長
S50	工	戸塚誠司	熊本大学工業会 常任理事
S50	医	原田信志	熊本大学 学長
S51	工	市下雅春	(株)NTF 専務取締役
S51	工	田北洋康	(有)TAKITA 代表取締役
S51	法	岸本清一	(株)熊本銀行 常勤監査役
S51	工	中村靖生	(株)F.I.T総研 代表取締役
S51	薬	久我義隆	あおば病院 副院長
S52	法	富岡邦廣	熊日会館 常務取締役
S52	工	上野淳	(株)熊本放送 常務取締役
S52	法	田崎龍一	熊本県立美術館 館長
S53	法	國武俊郎	宝興業(株) 代表取締役社長
S53	工	中尾憲一	(株)SYSKEN 営業本部 環境事業部長
S53	工	佐藤嘉行	(株)大本組九州支店 執行役員 支店長
S53	工	山本祐司	山本建設(株) 代表取締役
S53	工	高島和希	熊本大学 副学長・教授
S55	理	富松篤典	(株)電盛社 常務取締役
S57	工	増田毅	西部電気工業(株) 取締役熊本支社長
S57	法	森克彰	(株)エアーズ 取締役

卒年	学部	氏名	所属
S57	法	野口健一郎	熊本日日新聞社 事業企画専門委員
S57	法	野口恭子	熊本市北区役所 区長
S58	法	岩本匡	元 (株)肥後銀行 営業店支援センター 指導役
S58	工	笹原健嗣	(株)建吉組 代表取締役
S58	法	磯田淳	熊本県知事公室 政策審議監
S58	法	林田達	(株)九州フィナンシャルグループ 経営企画部長
S59	法	荒川浩二	(株)肥後銀行 理事 総務部長
S59	法	徳永賢治	(株)肥後銀行 取締役執行役員 事業統括部長
S59	法	溜渕真昭	(公財)地方経済総合研究所
S59	教	平川清美	(株)西日本チケット 取締役営業部長
S59	教	岩田智子	熊本県議会議員
S60	文	鯨島美知子	熊本公共職業安定所 雇用対策部門
S60	工	諏訪秀典	(株)SYSKEN 営業本部 ビジネスソリューション事業部 担当課長
S61	薬	有馬英俊	熊本大学 薬学部 教授
S61	教	森川治雄	森川ローヤルゼリー(株) 代表取締役
S62	法	三輪孝之	熊本県環境生活部 水俣病審査課 課長
S62	法	荒尾俊比古	熊本第一信用金庫 理事審査部長
S62	法	林田浩伸	東武トップツアーズ 課長
S63	教	田尻晋哉	(有)石彫田尻 代表取締役
S63	工	山本義弘	(株)KIS 公共・医療ソリューション事業 副事業部長
H2	法	河崎陽一郎	山鹿市役所 審議員
H3	法	後藤久美子	司法書士法人アシスト 代表社員・司法書士
H3	文	坂本光陽	(株)CSプランニング
H8	文	田邊正広	山崎菅原神社 宮司
H10	理	土田華寿麿	土田公認会計士事務所
H11	法	東健一郎	東 法律事務所
H11	工	池田大信	(資)ダスキン熊本 専務
H12	文	坂井欣典	東京会計(株) 福岡支店長
H14	理	野田耕右	MIS九州(株) 常務取締役
H16	教	中田一聡	司法書士 中田事務所 所長
H18(院)	法	雑賀庸泰	さいが綜合法律事務所 所長弁護士
H19	工	木村圭吾	(株)体育堂 代表取締役

幹事等役員名簿

役 職	氏 名	卒業学部年度	所 属
代表幹事	森 正 臣	昭和36年法文学部	学法)熊本城北学園 理事長・九州看護福祉大学 理事長
	小 野 友 道	昭和41年医学部	熊本機能病院 顧問
	赤 星 敦	昭和44年工学部	(株)SYSKEN 顧問・熊本のいのちの電話 事務局長
常任幹事	本 田 清 躬	昭和43年法文学部	元 (有)熊日黒髪販売 社長
	坂 本 康 尚	昭和46年法文学部	熊本県パドミントン協会 会長
	徳 永 隆 裕	昭和50年法文学部	学法)出田文化学園 理事長
	田 崎 龍 一	昭和52年法文学部	熊本県立美術館 館長
	野 口 恭 子	昭和57年法文学部	熊本市北区役所 区長
	田 尻 晋 哉	昭和63年教育学部	(有)石彫田尻 代表取締役
幹 事	柿 山 武 志	昭和36年法文学部	熊本日日新聞社 相談役
	田 中 征 夫	昭和42年工学部	元 (株)SYSKEN 役員
	山 内 稔	昭和44年工学部	NPO熊本技術士の会 理事
	河 崎 有 博	昭和48年工学部	(株)愛歯 顧問
	市 下 雅 春	昭和51年工学部	(株)NTF 専務取締役
	平 川 清 美	昭和59年教育学部	(株)西日本チケット 取締役営業部長
	田 邊 正 広	平成8年文学部	山崎菅原神社 宮司
	坂 井 欣 典	平成12年文学部	東京会計(株) 福岡支店長
監 事	雑 賀 庸 泰	平成18年法科大学院	さいが綜合法律事務所 所長弁護士
	河 村 久 幸	昭和49年法文学部	(株)ヒライホールディングス 取締役
相 談 役	岸 本 清 一	昭和51年法文学部	(株)熊本銀行 常勤監査役
	平 山 謙 二 郎	昭和29年法文学部	自遊人
	東 家 暁	昭和30年医学部	(医)明和会 くまもと悠心病院 理事長・精神保険指定医
	岩 永 研 一	昭和30年工学部	岩永組(株) 代表取締役会長
	出 井 昇	昭和30年法文学部	熊本大学武夫原会 顧問
	米 満 弘 之	昭和38年医学部	熊本機能病院 会長・総院長

熊本大学同友会会則

〔名称〕

第1条 本会は、熊本大学同友会と称する。

〔目的〕

第2条 本会は、次の事を目的とする。
 (1) 会員相互の交流による会員の経済活動の助長・支援
 (2) 会員の母校である熊本大学の発展に寄与
 (3) 地域社会への貢献及び地域の発展に寄与

〔事業〕

第3条 本会は、目的を達成するため次の事業を行う。
 (1) 会員情報の収集・提供
 (2) 会員相互の親睦会
 (3) 講演会・研修会の実施
 (4) 熊本大学との交流による情報交換
 (5) その他目的に必要な事業

〔会員〕

第4条 (1) 本会は、熊本大学・大学院卒業生で、本会の趣旨に賛同した者をもって組織する。
 (2) 旧制専門学校および第五高等学校を卒業した者で、本会への入会希望者は、特別会員とする。
 (3) 会員及び特別会員となるには会員一名以上の推薦により、幹事会の承認を受けなければならない。
 (4) 一年以上の会費未納者は、自然退会者とする。

〔年会費〕

第5条 (1) 本会の会費は次の通りとする。
 会費10,000円
 (2) 会費は毎年7月31日までに当年度分を支払わなければならない。

〔役員〕

第6条 本会に次の役員を置く。
 代表幹事 3名
 幹 事 30名以内
 監 事 2名

〔幹事会〕

第7条 (1) 会の運営に関する事項は幹事会が決定する。
 (2) 幹事会は監事の過半数で決議する。

〔代表幹事・幹事〕

第8条 (1) 代表幹事は会務を総覧する。
 (2) 幹事は代表幹事を補佐して下記のいずれかの会務を担当する。

- ① 事務局
- ② 情報宣伝・会勢拡大
- ③ 企画
- ④ 会計

〔同〕

第9条 (1) 幹事は総会において選出し、代表幹事は幹事会において選出する。
 (2) 幹事の任期は2年とする。但し、後任が選任されるまではその任務を行う。

〔総会〕

第10条 (1) 通常総会は毎年1回8月に招集する。
 (2) 代表幹事は幹事会の決定により臨時総会を招集することができる。
 (3) 総会は出席会員の過半数により決定する。

〔同〕

第11条 (1) 総会は下記の事項につき決議する。
 ① 議長の選任
 ② 予算・事業計画の承認
 ③ 会計報告の承認
 ④ 会則の変更
 ⑤ その他会の運営に関する基本事項

〔事務局〕

第12条 (1) 本会は、事務局を熊本市に置く。
 (2) 事務局長は、幹事の中から代表幹事が任命する。

〔財源〕

第13条 本会の経費は年会費、寄付金その他の収入をもってこれにあてるものとする。

〔会計年度〕

第14条 本会の会計年度は、毎年7月1日より、翌年6月30日までとする。

〔会計監査〕

第15条 監事は会計監査を行う。

付 則

(1) 本会則は、昭和62年3月20日より効力を発揮する。
 (2) 最初の会計年度は昭和62年3月20日より昭和63年6月30日までとする。
 (3) 本会に定めなき事項は幹事会の決定による。
 (4) 平成16年8月24日第18回総会にて、第1条を熊本大学同友会に改称。
 (5) 平成24年8月31日第24回総会にて、一部改正。

以上



熊本大学同友会 入会のご案内

熊本大学同窓生各位

熊本大学同友会 代表幹事 森 正臣
小野 友道
赤星 敦

▼熊本大学同友会について

熊本大学同友会は、熊本在住の熊本大学卒業生の有志が学部、学科、年次の垣根を越えて親睦と交流を図り、地域と熊大の発展に寄与することを目的として昭和62年熊本大学経済同友会の名称で発足し、その後熊本大学の卒業生のどなたでも入会できるように、熊本大学同友会に名称を変更して現在に至っています。

現在会員数は約130名で年3~4回例会を開催し、各界から講師をお招きして講演を聴き食事をしながら近況を語り合い、老若男女和気あいあいの気楽な雰囲気の中で交流を深めています。例会には学長、各学部長、各同窓会長にも出席いただいております、母校熊本大学に対する支援の輪を広げる役割も担っております。

皆様には各学部毎の同窓会に入っておられるとは思いますが、本会の主旨にご賛同いただき是非ご入会いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

▼年会費・例会費

年会費は40歳未満が5千円、40歳以上1万円です。例会費は出席の都度3千円お支払いいただきます。なお、入会費は無料です。

入会申込書

※印欄は必ず記入して下さい。

申込日 平成 年 月 日

フリガナ ※お名前	※出身学部等	学部	学科	昭和 平成	年3月卒
※自宅住所	(〒)				
※自宅電話	携帯電話				
E-mail	※例会案内 (いずれかに○)		1. メール 2. 郵送		
勤務先	会社名	役職			
	会社住所	(〒)			
	会社電話				
※年会費納入方法 (いずれかに○)	1. 口座引落 2. 振込 3. 例会時持参				
※入会推薦者	—				

- ・年会費納入方法で、1の口座引落または2の振込をご希望の方には、田邊幹事より別途説明いたします。
- ・入会申込者は、幹事 田邊正広 (TEL/FAX 096-325-3474) 宛にFAXをお送りください。
郵送される方は、〒860-0805 熊本市中央区桜町1-8 山崎菅原神社 田邊正広 宛てでお送り下さい。
- ・ご不明な点は田邊までどうぞ。

会旗デザイン趣旨

各学部を象徴する7つの楕円が連帯の輪を形づくりながら、なおかつ、無限の未来へ伸びていく様を表現しています。

鮎川久雄 (工46年卒)



熊本大学同友会30周年記念誌発行にあたり、過去の10周年・20周年の記念誌を参考に資料収集から始めました。

予想されていた通り資料不足がネックと成りましたが関係者から多くのご協力、ご支援を頂き関係各位に改めて感謝申し上げます。

完成した30周年記念誌は、未熟な部分もあるかも知れませんが、これを踏み台にして次の40周年記念誌をより充実したものにして頂きたいと願う次第です。

※掲載の写真は山内稔提供
※不許複製・禁無断転載

編集委員：赤星 敦、田尻晋哉、山内 稔、田中征夫

発行日：平成29年8月26日

事務局：熊本市南区孫代町979-3 (有限会社 石彫田尻 内)
事務局長 田尻晋哉
電話番号 096-227-0053
メールアドレス info@s-tajiri.com

印刷元：株式会社みどり印刷社
熊本市中央区黒髪4-16-18
電話番号 096-343-5144